

遺伝子導入

Maxi prep スケールの自動プラスミド精製装置 AmMag™ Quatro

- ・トランスフェクショングレード（エンドトキシンレベル： <0.1 EU/ μ g）のプラスミドを最大 24 サンプル同時精製
- ・大幅な労力と時間の削減が可能



遺伝子導入装置 EXPERT™ システム

- ・最大 200 億個もの細胞に一度に遺伝子導入が可能な Flow Electroporation 技術を採用
- ・一過性発現による機能性タンパク質の大量取得
- ・安定発現株の構築においても、遺伝子導入用の特殊培地が不要なので開発コストの削減に貢献
- ・CHO 細胞や HEK 細胞を用いた生産系構築を効率化

MaxCyte



シングルセル播種システム VIPS® PRO

- ・シングルセル由来の抗体生産細胞の取得プロセスの効率化と迅速化に有用なシングルセル播種システム
- ・ウェル内に滴下された細胞懸濁液中の細胞数を瞬時に撮影し、細胞の有無を計測
- ・クローナリティ証明に有用な画像データ取得とクローナリティレポートの作成が可能

シングルセルイメージングシステム Cell Metric® X HT

- ・学習済み人工知能による細胞の自動認識機能でウェル内のシングルセルの探索をサポート
- ・播種 0 日目からの経日的な画像データを取得し、モノクローン由来の細胞株樹立に寄与
- ・6 分間で 96 サンプルの画像を取得
- ・高精度なコンフルエンスキャン機能やクローナリティレポート作成機能で実験プロセスを効率化

シングルセル化

抗体産生量 / 生細胞密度測定システム ICON™

- ・生産性の高い抗体生産クローンの選抜をサポート
- ・1 台でクローンの抗体生産量と生細胞密度を計測し、比生産性 (Qp) を算出

非精製系での力価・結合能測定 Fida Neo 流動誘起分散解析システム

- ・蛍光ラベルした抗原に相互作用する抗体によって引き起こされるサイズ変化を測定することで、非精製系で抗体の力価や結合能を解析

ADVANCED INSTRUMENTS



Fidabio



クローン選別

細胞株開発用サプリメント Insti 製品

- ・CHO 細胞や HEK 細胞の培養サプリメント
- ・「InstiGRO™」シングルセルからのコロニー形成率の向上
- ・「InstiSHAKE™」振とう培養時の培養効率の向上
- ・「InstiTHAW™」細胞融解後のリカバリー効率の向上

CHO 細胞用培地 & サプリメント

- ・抗体医薬品の製造実績のある無血清培地をはじめ、動物由来成分フリーのサプリメントを提供

ADVANCED INSTRUMENTS



KERRY



培養

精製

中規模アフィニティー抗体精製システム AmMag™ SA Plus

- 各種抗体精製（Protein A、G、A/G、L）、タグ付きタンパク質精製（His タグ、GST タグ、DYKDDDDK タグ、ビオチン）対応の磁気ビーズ
- 最小溶出量 0.4 mL、最大 12 サンプルを同時精製可能

バイオセパレーション製品

- 宿主細胞由来タンパク質除去吸着剤 HCPure™、エンドトキシン除去 EtoxiClear®、プロテアーゼの除去 p-Aminobenzamidine、イソアグルチニン抗体の除去 IsoClear A™ and B™、レンチウイルス精製カラム Nereus LentiHERO®、その他各種クロマトグラフィー用カラム

ペプチド・抗体受託作製

- 長鎖（50 残基まで）、修飾（環状、リン酸化、硫酸化、メチル化など）、蛍光ラベル化、安定同位体ペプチドの受託合成および、ポリクローナル、モノクローナル抗体の受託作製



SPR 顕微鏡 / セルベースの膜タンパク質-抗体間相互作用解析

- 細胞表面に発現している標的膜タンパク質と抗体との非標識・リアルタイム相互作用解析が可能
- 一価結合／二価結合の同時計測・カインेटクス解析にも対応



細胞間結合力測定装置 z-Movi®

- がん免疫療法としてのバイスベ抗体の機能解析装置
- 音響振動を用いてエフェクター細胞と標的細胞の細胞間結合力「アビディティ」を計測し、バイスベ抗体の機能を評価



免疫原性評価・安定性評価・凝集測定・バイスベ抗体の相互作用解析 Fida Neo 流動誘起分散解析システム

- 蛍光ラベルした抗原のサイズ変化により、血漿中での中和抗体による免疫原性の評価、バイスベ抗体との三者での相互作用解析が可能
- 精製抗体の安定性評価や凝集測定などを一台で実行可能



FPOP/HRPF によるペプチド・アミノ酸残基レベルでのタンパク質構造解析 Fox® プロテインフットプリンティングシステム

- 抗原や抗体の親水表面をラジカル修飾し、ペプチドマッピングのフローで解析を行うことで、ラジカル修飾ペプチドの割合から簡便にエピトープ部位や凝集面の構造情報を得ることが可能

機能評価

製剤化

ナノファイバー & ナノ粒子作製装置 Fluidnatek® シリーズ

- エレクトロスピンニングにより、抗体をポリマーで封入（カプセル化）したナノファイバーやナノ粒子に加工することで、安定性向上や徐放時間を調節した抗体製剤を作製可能



輸入販売元

KIKO・TECH
キコーテック株式会社 事業開発部

本社 大阪府箕面市船場西三丁目10番3号
〒562-0036 TEL 072(730)6790 FAX 072(730)6795
東京支社 神奈川県川崎市中原区新丸子東三丁目1200番地 KDX武蔵小杉ビル
〒211-0004 TEL 044(430)3245 FAX 044(433)4390

- 記載の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 記載の内容は2024年9月現在のものです。
- 掲載製品は研究用にも使用できません。診断目的及びその手続き上での使用はできません。

<https://www.kiko-tech.co.jp/>

